

## 平成20年度第1回経営協議会議事録

日 時 平成20年4月16日(水)

開会 午後3時35分

閉会 午後4時52分

場 所 第1会議室

出席者 学長、高橋理事、佐々木理事、田牧副学長、青木副学長、石川事務局長、  
越膳委員、永田委員、深野委員、前委員、三上委員

欠席者 山田理事、大味委員、熊谷委員

陪 席 土岐監事、高松監事

議事に先立ち、学長から挨拶の後、役員並びに委員等の紹介があった。

### 議 事

#### 1 学長選考会議委員の選出について

学長から、本件については、任期満了に伴う委員の改選である旨説明の後、高橋理事から、越膳委員、熊谷委員、前委員、三上委員の推薦があり、異議なく承認された。

#### 2 国立大学法人北見工業大学役員給与規程の一部を改正する規程(案)について

学長から、本件については、常勤の役員の俸給月額に係る規程改正について提案する旨説明の後、総務課長から、別紙(資料1)に基づき、国立大学法人北見工業大学役員給与規程の一部を改正する規程(案)について説明があり、異議なく承認された。

#### 3 平成20年度学内予算配分について

学長から、平成20年度学内予算配分については、前回経営協議会及び役員会において配分方針(案)が承認されたが、平成20年度は役員等の交代により本日の経営協議会で正式決定することとなっている旨説明の後、財務課長から、別紙(資料2-1~3)に基づき説明があり、種々審議した。

審議の結果、平成20年度学内予算配分について、資料のとおり承認された。

議事終了後、平成20年度国立大学法人北見工業大学年度計画について、佐々木理事から、これまでの主な取組及び今後の取組について説明があり、今後の本学に対する要望等について種々意見交換した。

次回経営協議会開催日 平成20年6月13日(金)午後2時開催予定

## 主な質問・意見

- 大学院の見直しは、定員増も考えているのか、また、学部学生との関連はどうか。
- 実践的英語教育を充実するため、ネイティブ教員等の教育支援体制を維持するとあるが、後退した表現と読める。工学系では重要と考え、現在は、英語は必須条件となっている。外国で学んだ日本人の学会等での発表は脚光浴びているが、日本で学んだ人間が素晴らしいと言われるような学生を育ててほしい。
- 道外からの学生は「北見工大」のイメージをどのように感じているのか。  
今年の入試で、バイオ系の人気が高かったというのは、本学を **PR** するポイントとして主張できるのではないかと。
- 産学官連携を地域と一体となって進める目的で、「オホーツク産学官融合センター」が設置され、中小企業基盤整備機構が北見地域振興ビジョンを支援するために「北見オフィス」を設置した。ITの教育支援は北見工大でと考えている。については、これらを北見工大の重点の中に加えてほしい。
- 北見工大の知財本部について
- 北見工大のブランドをどこにつけるのか？  
**KIT** げんき会の応援団として、地元こだわらず、本州まで広げて応援団を作ってもいいと考えるが、そのためには、大学のブランド力を上げてほしい。
- メタンハイドレートの研究はどうなったか。
- 認証評価はクリアしたか。
- 学生定員を100人超えたのはなぜか。
- 20年度改組で、教員を研究と教育に配属したが、教授会等は2つあるのか。
- インターンシップ制(海外も含む)は機能しているか。道内の企業では、興味あると回答しているにもかかわらず、マッチングしていないのが現状。札幌商工会議所で行っている外国人留学のインターンシップとして「アジアンシップ」があり、北見工大からも19年度5人参加しているので、活用してほしい。